

ツールの活用で 生活をより豊かに！

～肢体不自由特別支援学校での取り組み～

都立八王子東特別支援学校

羽鳥洋美

【対象生徒の情報】 ○中学部2年 男子 脳性まひ 両下肢右上肢まひ

「先生読んで下さい。聞けば分かるけど、読むと、読むことだけでいっぱいいっぱいになって、意味が分からなくなるから。」

「何かやろうとする度に人に依頼するのは面倒。読書もそれで嫌いになった。」

「先生、僕の右手押さえていて。突然びくっと動いちゃう。」
不随意な緊張。

文字読み飛ばし。勝手読み。目を離すと、どこを読んでいるか分からなくなる。

ページをめくる、押さえる、は難しい。

書く、は難しい。

物をかばんから出す、片付ける、机上进行整理する、などは難しい。

【活動目的】

- 当初のねらい：ツールを使いこなし目指せ自分設計者！&学力アップ！
- 実施期間：平成25年4月～現在
- 実施者：東京都立八王子東特別支援学校 羽鳥洋美
- 実施者と対象生徒の関係：対象生徒の国語科担当

○活動の概要

困難さ払拭可能なツールを活用して
生活をより豊かに！

①読むより聞きたい→VOD、録音・読み上げ機能を活用

②いろいろと記録したい→写真撮影、ボイスメモを活用

③自由に自分で○○したい→通信機能を活用

○ツールの活用と対象生徒の変化

①読むより聞きたい

→VODの活用

国語、数学、理科、社会、英語の5教科→マルチメディア
アデイジー教科書を活用。
その他、自作教材をデジタル化して活用。



○ツールの活用と対象生徒の変化

①読むより聞きたい

デジター化した教材で学習する様子

→VODの活用

Episode1:デジター教科書の活用

・デジター教科書を初めて持ち帰った日の次の授業で「大体家で読んできた」と言い、教科書の内容に関する質問に答えていた。

H25年5月

・漢詩の授業後「家で朗読の練習をしてきます」。次の授業で李白の漢詩を朗読。読み間違えなし。どや顔。H26年1月



○ツールの活用と対象生徒の変化

①読むより聞きたい→読み上げ機能を活用

組 氏名

問題1

問題文

しかし、雨露を防げる建物はなにしろ貴重だったから、校舎は爆弾が落とされた直後から臨時の救護所となった。重傷を負った人たちが次々と運び込まれた。横たわる人の中に知り合いはいないか。探している人に関する情報はないか。行方知れずの人の消息を求めて多くの人が訪れたと考えられる。w

このとき、校舎の中の壁は、廊下や壁にはられていた松の板材が焼けたときの煤で真っ黒になっていた。そして、床にはチョークが転がっていた。伝言が、凹凸の少ない、真っ黒なコンクリートの壁面を黒板代わりにして、白いチョークで書かれたこと。これが、伝言が保存されることになった第一の「条件」だったと専門家が指摘する。

さらに「条件」が重なる。伝言の文字は、書かれたあと校舎が補修されるまでの間、そのまま放置された。書いた人の気持

問及び解答

問1 「伝言」は、なぜ、校舎の壁面に書かれていたのか。次のキーワードを使って、その理由を説明せよ。

〈キーワード〉

・原子爆弾投下直後・臨時の救護所
・負傷者・伝言

解答欄

原子爆弾投下直後に臨時の救護所となって負傷者のあんびのための伝言がかかれた。

問2 「さらに条件が重なる」とあるが、チョークの伝言が保存されることになった「条件」とはどんなこ

Episode2:定期試験での活用

読み上げ機能を使って自分の答えを読み直し、

「なんかへん」

と言い、初めて自分の答えを入力し直す。

H25年6月

で、iPadを使って定

○ツールの活用と対象生徒の変化

①読むより聞きたい→読み上げ機能を活用



Episode3:読み聞かせ会での活用

小学生・保育園児への読み聞かせ会。台本代わりにiPadを操作しながら「ウマソウの父親」の心情を熱演。事前に家庭で読み上げ機能を活用して練習を重ねる。終了後「感動しました！」の感想をいただく。終了後の発言「先生、また読み聞かせ会やりたい。」H25年7月（写真中の映像はポプラ社宮西達也「おまえうまそうだな」）

○ツールの活用と対象生徒の変化

①読むより聞きたい
→読み上げ機能を活用

定期試験の様子。読み上げ機能を使って、問題文、自分の解答を読み上げている。トラブルの際の学生も待機。



Episode4:定期試験での活用について語る

今年度1回目の定期試験より、iPadを活用。12月の定期試験を受けた後の発言、「今後もiPadで試験を受けたい。手の動く範囲が狭くていいし、視野も狭くていい。いちいち代読や代筆を頼まなくていいし。」H25年12月

○ツールの活用と対象生徒の変化

②いろいろと記録したい→写真撮影、ボイスメモを活用



○宿題:メールでの催促は必要だが、メールで送信してくるようになってきている。

○その他:教師によるテキストの範読を、録音して、音声テキストにして活用している。

○ツールの活用と対象生徒の変化

③自由に自分で○○したい→通信機能を活用

8月のチャレンジセミナー。
一人で1時間半の道のりを往復する。

前日、目的地までの時間、電車の時刻、行き方など調べ、駅員さんに協力を依頼するなど、すべて一人で行う。



Episode5: 情報収集手段として活用

「不安はなかった。むしろ楽しかった。今度は旅行に行きたい。いつもは親が行くところを決めるけれど、自分で決めて、一人で好きなことをしたい。」H25年8月

○主観的気づき



「もういいや」
感を払拭



「自力で自
由に繰り返
し聞ける」

学習意
欲向上

整理力
向上

音読力
向上

読解力
向上

思考力・
判断力
向上

○主観的気づき

とにかく
楽しい

「自力で調
べ自由に実
行する」

学習
意欲

積極性

問題解
決能力
育成

補足;

「自立とは、依存しなくなることではない」ということを、0くんは、チャレンジセミナーで学んだ。(作文に書いていたのだ!) 端末で情報を得ながらも、状況を判断して、必要に応じて、周囲に依存をし、日々、自分の目的を果たすべく、行動している。

校内・校外への発信 ～〇〇すれば〇〇できる〇君に学べ～

試験作成方法を
学べ！



校内〇君プロジェクト
教科担当者が定期試験前後に集まり、試験方法を中心に話し合う。数学科から、ワードのドロップダウンを使った解答欄作成による、より身体的ストレスのより少ない試験方法についても提案された。

千葉県立西部図書館での研修会で肢体不自由を持つ生徒への支援方法について講演。

支援方法を
学べ！

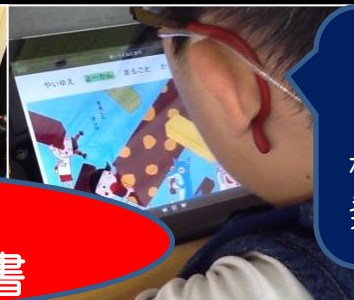


東京都教職員研修センター主催の研修会、その他で、デイジー図書についての講演。

読書方法を学べ！
Daisy & 端末の読書



〇君
プロジェクトの広
がり



デイジーで
文字学習
校内・校外で
発表。

校内でのiPad・iPodを使ったDaisy勉強会
1学期に3回実施。その後図書館管理で貸し出し。



電子図書リーダーでの
読書、試行開始。